

NEWS

吉村敏男県議会活動報告
Vol.26

風を通そう!

福岡県議会議員
〔飯塚市・嘉穂郡(桂川町)選挙区〕

よしむらとしお



△ 県議会活動報告会にて(11月29日)

あけましておめでとうございます。

「未熟」「頼りなさ」等、厳しい評価から党存亡の惨敗。かくなるうへは、初心に帰り信頼を取り戻すべく努力を重ね、陰が尽きれば陽が始まる「一陽来復」を信じ、心機一転、民主党再生の年にするべく全力を尽す決意です。今年もよろしくお祈りします。

2013年 早春
吉村 敏男

第14回県議会活動報告会開催

11月29日恒例の第14回県議会活動報告会をことぶき会館で開催しました。当日は800名以上のみなさんに御出席をいただき、今回は

- ①飯塚市内住地区の違法産業廃棄物問題における住民側勝訴と今後の県の対応について
- ②平成24年7月の九州北部豪雨に対する小川県政の取組み
- ③台湾故宮博物院宝物の九州国立博物館での展示決定
- ④合併市町村の合併算定替特例措置の国に対する要望の取組み等を主なテーマに報告しました。

御出席のみなさん、本当にありがとうございました。

補正予算など20議案を可決～12月定例県議会

県議会12月定例会は12月3日から18日間の日程で開かれ、12月20日閉会となりました。平成24年7月の梅雨前線豪雨被害による県南地方の災害復旧・復興対策に充てるため、本県は先の9月議会における補正予算、約253億5千万円(内、災害復旧関係費約220億円)で、被災者の救済・生活支援、農林漁業者・中小企業者支援、公共土木施設等の災害復旧に全力で取り組んでいますが、今議会では被災地の再度の災害防止のための河川等の改良復旧などに要する経費として79億1千6百万円。景気・雇用対策に要する経費として55億4千5百万円など、総額約135億9百万円の一般会計補正予算案を原案どおり可決しました。この他、地方自治法の一部を改正する法律の制定に伴い、県議会会議規則と委員会条例のそれぞれ一部を改正する条例案など合計20議案をすべて原案どおり可決し閉会しました。



12月議会における民主党・県政クラブ議員団の代表質問の要旨は次のとおりです。

Q 飯塚市内住地区の産廃処分場調査に対する知事の考えについて

A 調査専門委員会で決定いただいた埋立処分場周辺8箇所及び埋立地内13箇所のボーリング調査は、原告や地元住民立会のもと予定どおり実施した。

周辺井戸への影響を見るため、調査専門委員会で決定いただいた2箇所の追加ボーリング調査についても現在実施している。

これも含めた処分場全体の実態を把握するための調査は、予定どおり今月中に終了できると考えている。

Q 措置命令の発出時期について

A 調査で得た数多くのデータを整理し、調査専門委員会で技術的、専門的見地から慎重に評価、審議していただく必要がある。

一連の過程を踏まえ、適切な措置命令の年度内の発出に努めたいと考えている。

Q 世界記憶遺産の保存・管理について

世界記憶遺産は、1992年にスタートしたユネスコの事業で、不動産を対象にした世界遺産、伝統芸能などを対象にした世界無形文化遺産とならぶ三大遺産事業といわれている。世界記憶遺産は現在98ヵ国、245件の登録があるが、昨年5月わが国では炭坑記録画の「山本作兵衛コレクション」が初めて登録された。しかし、この記録画は普通の画用紙に墨や絵具で描かれていたり、劣化が避けられない、この記録画の保存、管理に対する知事の考え方について

A 山本作兵衛氏の炭坑記録画等は、筑豊地域の歴史を示す貴重な地域資産であり、将来にわたり適切に保存・管理していくことは大変重要だと考えている。

この炭坑記録画等は、「九州・山口の近代化産業遺産群」とともに、筑豊地方が日本の近代工業化の原動力となったことを示す。これらの貴重な資産は、約100年で硬化、損壊されると言われる酸性紙が使われており、田川市において、九州国立博物館の協力の下、炭坑記録画等の劣化損傷状況を把握するための調査が行われている。質の高い保存が図られるよう専門的な助言や技術的な支援を行っていきたい。

Q 県内橋梁の老朽化に伴う通行規制状況と改修計画について

A 県が管理する橋梁には通行規制はない。市町村が管理する橋梁では、通行規制を行っている橋梁が27橋あり、うち通行止めが1橋、重量規制が26橋。

改修計画としては、通行止めの1橋は、現在架替中で来年度完成予定。重量規制の26橋のうち1橋は現在架替中。その他橋梁は対策実施に向け関係市町村に助言や指導を行っている。

Q 市町村の橋梁長寿命化修繕計画の取組み状況の知事の認識と、県としての計画・実施時の市町村への支援の取組みについて

A 15m以上の橋梁の長寿命化修繕計画の策定については、平成23年度末現在で、24市町村が策定済みで36市町村が未策定。未策定の市町村についても平成25年度末までに策定予定。

県内市町村に対し、橋梁点検や補修工法の技術講習会を

開催するとともに、個別橋梁についても技術的な助言指導を行っており、引き続き支援を行う。

Q 道路施設以外の社会資本ストックの「長寿命化計画」の策定状況について

A 公園施設及び老朽化対策の必要な流域下水道施設については策定済み。河川施設は、大規模な水門や排水機場について、港湾施設は、防波堤、係留施設について、「長寿命化計画」を策定中。庁舎および教育施設は、今後、長寿命化について検討していく。

今後とも、このような長寿命化計画の策定を進めるとともに、定期的な点検の実施や長寿命化計画に基づく予防的な補修、計画的な更新などを進め、重要な社会資本の適切な維持管理に努めていく。

Q 山梨県でトンネルの重大事故が発生した直後で、県民の不安も多いと思い、この際、知事に次の3点について質問する。

第1に、事故の起きたトンネルと同じ構造のトンネルは、国管理の国道と、全国の自治体や道路公社が管理する道路を合わせ、48箇所、61本あると聞きますが、本県ではどのような状況にあるのか。

第2に、県内には県が管理するトンネルが31本ありますが、今回の事故を受け、緊急点検など、どのような対応を行い、その結果がどのようなものであったのか。

第3に、県が管理するトンネルについて、通常の維持・管理がどのように行なわれているのか。また、新聞によると本県では、トンネルの「長寿命化計画」を策定していないと報道されていますが、今後のトンネルの維持・管理のあり方について、知事がどのように考えているのか。

A 県内では、このトンネルと同種の吊り天井形式は、西日本高速道路株式会社が管理する関門トンネル1本のみ。この関門トンネルについては、現在緊急点検中であると聞いている。

県が管理する供用中のトンネルは31本で、すでに目視による緊急点検を実施し、コンクリートの剥離につながるような異常は見られない。また、トンネル上部に換気装置を取り付けている新犬鳴トンネルについては、詳細点検の準備をしており、12月12日までに取り付け箇所の打音や触診検査も実施する予定。なお、県内の市町村、福岡県道路公社、福岡北九州高速道路公社に対し、本県が行った緊急点検の情報を提供するとともに、速やかに点検を実施するよう要請したところ。

本県では、トンネルの長寿命化計画は未策定で、トンネルの点検は、国土交通省の点検要領に準拠した福岡県トンネル定期点検要領に基づき、目視や打音等による点検をトンネルの健全度に応じて、2年及び5年のサイクルで実施している。点検の結果、損傷が発見された場合は随時補修しており、また、今回の事故を受け、緊急点検を実施したところであり、状況に応じた対応を行っている。

今後は、トンネル事故の原因が明らかにされ、国においてトンネルの点検方法、維持管理のあり方について、検討がなされていくと考えており、県としては、その結果を踏まえ、点検方法や維持管理の内容を見直し、長寿命化計画の策定について検討している。

その他、以下の事項について質問しています。
詳しくは県議会ホームページをご覧ください。
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>

- Q 来年度予算編成に向けた基本方針について
- Q グリーンアジア国際戦略特区の取組み
- Q 雇用対策について
- Q 森林環境税による森林環境の保全について
- Q 社会資本の維持・管理について
- Q 暴力団対策について



福岡空港の国内線ターミナル再編事業が動き始めましたので概要をお知らせします。

2012年離発着回数15万5千回に迫る。

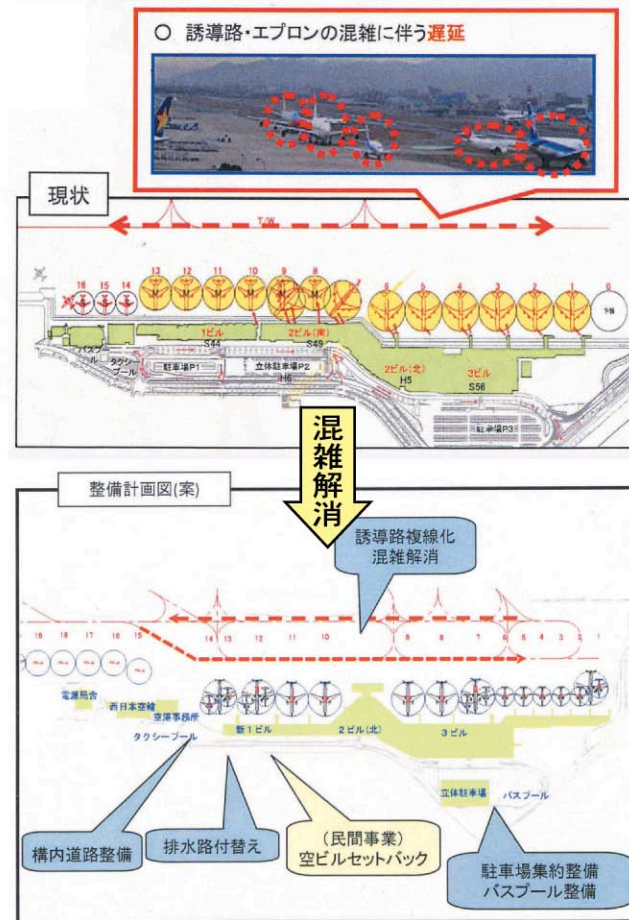
福岡空港の離発着回数が2012年中に容量限界を約1万回上回り、約15万5千回に迫ることが確実となりました。なぜ、想定より、1万回も離発着回数が増えても、何とかこなしているのか？この容量限界問題は、これまでも代表質問や一般質問でも繰り返し知事の所見を質してきました。従って、今回の結果は、容量限界の精度が厳しく問われることになります。今号では、取りあえず現在の再編事業等の内容についてお知らせします。

福岡空港の需要予測の再精査結果について

○旅客数については、国内線が、2030年度で1,487万人(前回1,700万人)、国際線が498万人(前回436万人)となり、合計で1,985万人(前回2,137万人)。

○発着回数については、国内線が、2030年度で14.2万回(前回15.0万回)、国際線が3.4万回(前回3.0万回)となり、合計で、17.6万回(前回18.1万回)。

福岡空港 国内線ターミナル地域再編事業



○国内線ターミナル地域(東側)のエプロン誘導路部に

において、発着航空機の輻輳に伴う慢性的な遅延・待機が発生。

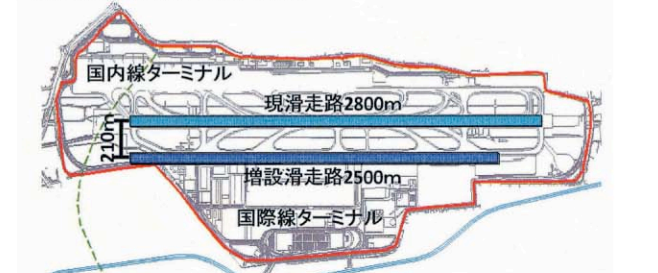
- この混雑を解消するため、エプロン誘導路を二重化する。
- 二重化のためには、構内道路の付け替えや駐車場の集約整備(国)、ターミナルビルのセットバック(空ビル)等の事業が必要。
- 事業概要:国整備分(エプロン改良・排水工・構内道路・駐車場等)/ビル整備分(第1ターミナルビル建て替え・第2ターミナルビル改修)

福岡空港の平成24年度事業について

- 滑走路増設に向け、平成24年度から環境影響評価の手續きに着手する。
- 誘導路二重化を含む国内線ターミナル地域の再編事業に着手する。

- 現状
 - 滑走路:2,800m
 - 旅客実績:〈国内〉1,353万人、〈国際〉243万人(平成22年度)
 - 主要路線:〈国内〉153往復/日 新千歳(3)、東京(50)、中部(10)、大阪(10)、関西(2)、宮崎(9)、鹿児島(3)、那覇(18)等 〈国際〉185往復/週 ソウル(56)、上海(21)、台北(18)、大連(11)、釜山(28)等

○第2滑走路増設案の概要



- 処理容量:14.5万回→18.3万回/年
- 工事期間:約7年(※他に環境影響評価、用地買収、埋文調査等の期間が必要)
- 概算費用:約1,800億円(民間事業含む)

2014年11月台湾故宮博物院収蔵の宝物九州国立博物館への展示決定

県議会には現在7つの国際議員連盟があります。そのひとつである福岡・台湾友好議員連盟(私は相談役という立場)が10月24日から26日まで3日間の日程で台湾を訪問しました。その目的は

- ①台北市議会との友好親善協定の調整
- ②台北市立青年公園における友好記念桜の植樹
- ③故宮博物院収蔵の宝物の九州国立博物館への展示誘致の3点でした。

その内①については台北市議会副議長との間で今後も協議を進めることで合意し②については10月25日に現地産の昭和桜100本を植樹しました。そして最大の目的であった③については呉副総統との面談の中で2014年10月の東京国立博物館に次いで11月に九州国立博物館に誘致展示することが決定しました。

台湾故宮博物院の収蔵数は約69万点といわれ、日中戦争時、北京から南京に移されていた中国5千年の宝物が1949年の中国における国共内戦で国民党の蒋介石が共産党を率いる毛沢東に敗れ、台湾へ逃れる際に南京から運ばれたものです。その宝物群は、これまで1996年ニューヨーク、1998年にパリ、2003年にドイツのボン、2008年にウィーンで展示されています。

わが国では2011年3月25日に「借り受けた物は元に戻す」「司法による差押え請求の免除」等を明記した「海外美術品等公開促進法」が成立し、今回、初の国内での展示が実現することになりました。東京はともかく、東北、大阪、名古屋、石川等の各地も手をあげていた中で九州国立博物館への決定です。

台湾の対日窓口機関である亜東関係協会廖会長や台北駐福岡経済文化弁事処の曾処長の御尽力のおかげです。故宮が誇る絵画・磁器・玉器等、ぜひ御覧下さい。

PHOTO 吉村敏男 GRAFFITI



▲産炭議連・JR議連での京都/福知山クリーンセンター視察(10月11日)



▲故宮博物院宝物の九州国立博物館展示に御尽力いただいた、台湾亜東関係協会廖会長(写真向かって私のすぐ左)主催の歓迎夕食会(10月24日)



▲青年公園での桜の記念植樹。わが会派の参加者と(10月25日)



▲青年公園桜植樹記念式典(10月25日)



▲台湾総統府呉副総統を訪問し故宮博物院宝物の九州国立博物館での展示を懇請(10月26日)



▲警察委員会/金沢市歩道・自転車分離帯視察(11月13日)

吉村敏男 事務所

〒820-0082 飯塚市若菜52-1
Tel.0948(23)1210 Fax.0948(25)6071

お願い

個人情報保護法が施行され、個人情報の管理が厳しく制限されるようになりました。その結果、事務所として冠婚葬祭における祝電、弔電などが把握できず、大変失礼をいたしております。友人、知人、親族等の冠婚葬祭等がございましたら、ぜひ、御一報くださいますようお願いいたします。